

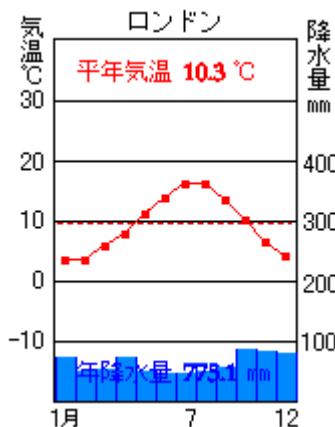
地誌 第24回「ヨーロッパ地誌⑤～ヨーロッパ各国情勢(1)イギリス・アイルランド情勢～」

○今回のポイント

ヨーロッパの大陸諸国に比べて海洋国独特の発達をしたイギリスを理解しよう！！

イギリス情勢

(1)自然環境



(2)農業

- 農業就業人口の割合…[⑤ 2%]未満だが、国土面積に対する牧場・牧草地の割合が高く、羊の飼育頭数はヨーロッパで最大(2009年) ⇒ 地主が多い。
- EUの共通農業政策により、小麦の生産も拡大し、[⑥ 小麦の輸出国]となっている。

(3)鉱工業



a.社会

・グレートブリテン島とアイルランド島北部などがイギリスを形成し、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドが UK([① 連合王国])を構成している。

b.地形

- ・[② ペニン山脈]…ブリテン島を南北に走る古期造山帯。偏西風を遮るため、風上側の山脈西側は降水に恵まれるが、風下側の山脈東側は少雨となる。
- ・[③ 西岸海洋性気候](cfb)…偏西風と暖流の北大西洋の影響で、緯度の割に冬でも温暖で、気温の年較差も小さくなっている。

c.民族

…ゲルマン系[④ アングロサクソン人](プロテスタントのイギリス国教会)。南西部のウェールズ、北部のスコットランドには先住民のケルト系民族(カトリック)。

(1)毛織物工業で資本蓄積

- ・[⑦ ヨークシャー]地方(ペニン山脈東側)
- ・イギリスの家畜である羊をいかして[⑧ 毛織物工業]が発展。資本蓄積に成功。

(2)産業革命で綿工業

- ・[⑨ ランカシャー]地方(マンチェスター)
- ・ペニン山脈は[⑩ 古期造山帯]で石炭。
- ・英領インドから綿花を輸入し[⑪ 綿工業](ペニン山脈西側は湿潤なので、綿糸が切れにくい)

(3)鉄鋼業の立地変化

- 旧来…ミッドランド地方[⑫ バーミンガム] ←石炭と鉄鉱石が産出
- ※近年、設備の老朽化・資源の枯渇

○現在

- ・沿岸部…北海沿岸[⑬ ミドルズブラ](北海油田で石油化学も)、南西部の[⑭ カーディフ]

(4)総合工業地域

- ・ロンドン…出版印刷、エレクトロニクス
- ・グラスゴー
- ・エディンバラ } [⑮ シリコングレン] (エレクトロニクス工業)

(4)アイルランド情勢

民族	宗教	公用語	気候
[16] ケルト系	[17] カトリック	アイルランド語・英語	[18] Cfb

○産業

- ・国土面積に占める牧場・牧草地率が高い ⇒ 伝統的に[19] **牧畜業** が発達
- ・アメリカを中心とする[20] **外資系企業** の進出(安い労働力と英語が公用語のひとつであるため)
⇒精密機械工業、電子部品製造業、コンピュータ関連産業、医薬品など
- ・2000年代以降は、賃金水準の向上により国際競争力が低下中

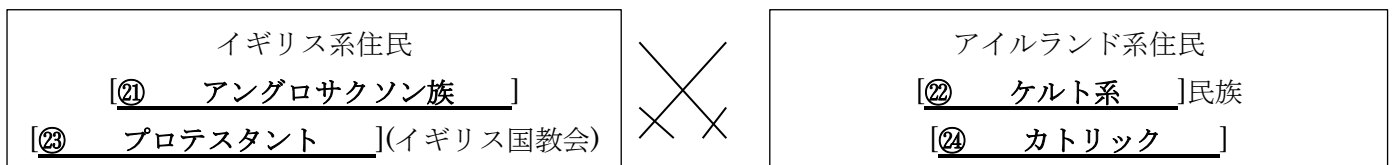
☆補論：労働コストと製造業の問題☆

- ①途上国が工業化を図る際、外国企業を誘致して[25] **外資** を利用した経済発展を行おうとする。
- ②先進国の製造業は労働コストや税金などの側面でコスト高になっているので、安くて豊富な労働力があり、立地や資源、税金などで優遇される途上国へ進出する。([26] **国内産業の空洞化**)
- ③外資が進出すれば工場が作られ、[27] **インフラ** が整備され、地元民の雇用が進み、恩恵を受けられる。
- ④だが、ある程度時間が経ち、一定の工業化が進むと、途上国でも[28] **賃上げ** 要求が起こってくる。すると外資系企業は引き上げ、より労働コストの低い国へと資本は流れていく(製造業の衰退)。

☆製造業の移り変わり☆

イギリス(19世紀) ⇒ ドイツ・アメリカ(20世紀初頭) ⇒ 日本(1960年代～) ⇒ NIEs(1980年代～)
⇒中国をはじめとする BRICs(2000年代～) ⇒ ミャンマー・アフリカ(イマココ)

○北アイルランド問題



③ イギリス・アイルランドの整理

スコットランド中央低地

- 鉄鋼・造船などの重工業が発展していたが衰退
- 近年、半導体生産がさかんになり、シリコングレンとよばれる

北アイルランド

- プロテスタント系とカトリック系の住民が対立
- カトリック系住民による独立運動と過激派組織IRAによるテロ

アイルランド

- 1922年、イギリスから独立
- カトリック系住民が多い
- 酪農・牧羊が中心
- 外資による電子産業が発達

ランカシャー地域

- 産業革命発祥の地
- 綿工業の中心地、マンチェスター
- 現在は、自動車・化学・電子機械産業が中心

南ウェールズ地域

- カーディフに臨海型の製鉄所(鉄鉱石は海外から輸入)
- 後背地にウェールズ炭田、大半は閉鎖

北海油田と北東部

- 1960年代に北海油田の開発進み、原油・天然ガス生産急増
- 油田を背景に、北東部で石油化学・鉄鋼の臨海工業発達
- 北海油田は枯渇が問題視

ヨークシャー地域

- 羊毛工業を中心とした繊維工業
- 中心都市リーズは近年では金融都市として成長著しい

ミッドランド地域

- かつて鉄鋼業の中心地であった→黒羊とよばれる
- 石炭、鉄鉱石の枯渇から、自動車・機械工業が中心になる

ロンドン周辺

- イギリス最大の工業地域で、消費財中心の複合工業地域
- 国内人口の1/4がロンドン都市圏に集中
- 大ロンドン計画でニュータウン建設、インナーシティ問題解決のためドックランズを再開発
- シティ、ドックランズは世界有数の金融の中心地